

総務・教育・市民・福祉分科会の中間報告

1 経過

- ① 平成 21 年 9 月 10 日(第 1 回目)、10 月 15 日(第 2 回目)に分科会を開催した。
- ② 第 1 回目の分科会では、市長に提案するテーマを決めるため、自由な議論を展開した。

【主な内容】

- 快適な生活環境を実現するためには、コミュニティーづくりの推進が重要
- そのための具体的なテーマとして提案された内容は次のとおり

項目	趣旨
「防災訓練」	他の区と一緒にまとまってやると、多くのメニューができる⇒地域の共通の話題になる
「花をいっぱい」にする	現在、多くの団体・個人で実施している。 ⇒みんなが参加できるようにしたい。
みんなが参加できる「お祭り」	1つのことに向かって、みんなで楽しみたい
将来の寺泊を見すえた「子どものイベントづくり」	子どもたちの中に寺泊を愛する心を育てたい。 体験をとおして、寺泊のベースづくりをしたい。
「健康づくり」	散歩するに快適なフィールドの整備 介護予防教室等の充実⇒地域内で助け合う ⇒そうした輪を寺泊全体に広げたい。
「環境対策」	ゴミ対策

- ③ 第 2 回目の分科会では、第 1 回目の議論を踏まえ、テーマを決定した。
…下記 2 のとおり

2 テーマ

〔1〕 主要テーマ

コミュニティーづくりの推進

【趣旨】

みなさんの「快適な生活を実現したい」という気持ちが集まって、自分の得意なこと、できることを、みんなと一緒に実践することが大切です。

小さなことから取り組んで、大きな輪になることを期待しています。

〔2〕 柱となる具体的なテーマ

花づくり活動

【趣旨】

市長への提案は、市に要求するだけではなく、まず、自分達でやるのが重要
コミュニティーづくりのために何をするのか。その足がかりとして決定した。
四季折々の花が咲いたら、春一番の花がいっぱいになったら素晴らしい。
住民と市が一緒になって汗をかき、取り組む必要がある。

3 その他

[1] その他の意見

- ① すでに活動している団体が、一緒になって取り組めるようにしたい。
- ② 花づくり活動をとおして、地域が活性化されることを期待している。
- ③ 花がいっぱいになることが最終目的ではなく、そのことにより、地域の活動がさらに活性化されることが大切です。
- ④ 例えば、花を植え・育てることが教育上生きてくるのではないか。また、多くの人に関わることにより、子どもの安全見守りが期待できるのではないか。
- ⑤ 花がいっぱいになれば、観光にも効果が生まれる。
- ⑥ 自分も花を植えたいと思う

[2] 今後の進め方

- ① 今後も分科会で議論して、提案をまとめたい。